



校訓：「感謝」「勤勉」「鍛錬」

商業科通信

2023年1月13日(金)
秋田商業高等学校
商業科
文責：柏谷亜紀子
大正9年開校
創立102年目

2023年がスタートしました！

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

さて、いよいよ3学期が始まりました。令和4年度も残り3か月です。やり残したことはないですか？実力を発揮できていますか？

簿記では、1年に1回決算を行うことは、この学校の生徒であれば誰でも知っていることなので、自分自身の今年度の「決算」をするとどのようになるか考えてみてください。もちろん、「決算」をしてそれで終わりではありません。企業が決算後もずっと経営活動が継続するように、私たちの進む道もずっと続いています。「資産」(＝頑張ったこと)だけでなく「負債」(＝もっと努力が必要なこと)など、自分にとっての”次期繰越”は何かを考えると、今やるべきことが見えてくるのではないのでしょうか。

3学期は、すぐに全商の検定が3週続きます。4月から学んで身につけた実力をしっかり発揮できるように、頑張りましょう。

3学期の検定



- 1月22日(日) 全商簿記実務検定
- 29日(日) 全商情報処理検定
- 2月5日(日) 全商商業経済検定
- 26日(日) 日商簿記検定

※日商簿記検定はネット受験も可能ですので、早く挑戦したい人は教科担任に相談してください。

教科担任からのアドバイス 全商情報処理検定に向けて

【2級プログラミング】

用語チェックはFormsによる課題を毎日出題します。スマホで繰り返し解こう！

トレースは、自分なりの書き方を定着させると早く正確に解けます！

アルゴリズムは、パターンが理解できると全体の回答率が上がります。授業で分からない時は、放課後に声を掛けてください。一緒にやってみよう！（須田先生）

教科担任からのアドバイス 全商簿記実務検定に向けて

問題集の模擬問題や検定の過去問をとにかく数をこなしてやることです。そうすれば、「あっ、あのときやった問題だ！」ってなるかもですよ！！（渡辺先生）

教科担任からのアドバイス 全商商業経済検定に向けて

勉強時間を確保すれば、必ず合格できる検定です。模擬問題や過去問で出題された分からない単語は、必ず確認するようにしましょう。（千葉先生）

教科担任からのアドバイス 日商簿記検定に向けて

【3級・2級共通】

どちらも仕訳が分からないと計算や表作成などの問題に対応できません。多くの仕訳を解き、流れや関連性を把握すれば、応用計算にも対応できるようになります。まずは仕訳対策を徹底しましょう！

【2級】

第1問、4問、5問での得点が合否の大きなポイントです。仕訳対策と工業簿記の計算の流れをしっかりと把握し、問題に臨みましょう！また、商業簿記では、決算の問題が必ず出題されるので、表計算の練習も欠かさずに！（藤原先生）

卒業生の活躍

～公認会計士試験3年連続現役合格～

中央大学に進学した本校の卒業生が3年連続大学在学中に公認会計士試験に合格しました。公認会計士は、医師・弁護士と並ぶ国家資格で難関試験として有名です。

卒業生に話を伺うと、相当な努力が必要だったようですが、高校の時に部活動と勉強の両立に励み、”努力する力”を身につけたことで、最後まで頑張った自信に満ちた笑顔で話していたのがとても印象的でした。

「文武両道」、「秋商魂」が卒業後の活躍の支えになっていることが分かりました。

詳しい内容は、本校HPに掲載しています。ぜひ読んでみてください。

授業紹介～総合実践（3年生全員）～

企業と連携した授業や実習を行いました

4月からプレステージ・インターナショナルとのデュアルシステム（企業実習）を通して、実際に企業で行われているマナーやイベント企画の立案方法などを教えていただきました。普段勉強してきたことを実際のビジネスの現場に活かす貴重な経験となりました。

【4月～6月】

★ビジネスマナー・コミュニケーションスキルの学習

プレステージ・インターナショナルの社員が受講しているビジネスマナー研修を受講し、社会人として必要なビジネススキルを身につけるための授業や履歴書の書き方、面接などを企業の視点から指導いただき、コミュニケーションスキルを身につける授業を行いました。

授業では、「サービスの合格点は何点か？」という問いがあり、100点ではなく120点を超えることで顧客満足度につながるというお話がありました。

また、サービスは知識や技術だけではなく、人の思いや心をかたちにするということを学ぶことができました。



【7月～9月】

★イベント企画による実践的なビジネス体験学習

プレステージ・インターナショナルが運営する女子バスケットボールチーム「アランマーレ」のホームゲームの集客イベントの企画立案をとおして、ターゲットの選定やターゲットへの効果的なコンテンツやプロモーション方法を考えることで、3年間学んできたことをかたちにすることができました。

特に、3コースの生徒が一つのグループになってイベントを企画することで、それぞれのコースで学んだことを活かして、内容の充実した企画につなげることができました。



【11月5日・6日】

★アランマーレホームゲームでのイベント参加

CNAアリーナで行われたアランマーレホームゲームで、実際に企画したイベントを実施することができました。

本校3年生20名が参加し、自分たちが企画した商品の販売を行いました。

明るく爽やかに接客する秋商生の姿はとても好評で、多くのメディアにも取り上げられました。



【イベントに参加した生徒の声】

- ・ラベルや看板、メニュー表など一からの作業が初めてでしたが、楽しく作業できた。今後は、コースごとの得意分野を活かした企画をしたいです。（3E川邊星哉）
- ・AKI SHOPと異なり、一般の幅広い世代のお客様の相手をすることになり、不安もありましたが、他のメンバーと協力してしっかり対応することができた。（3B正木藤悟）
- ・自分たちが考えた企画を実際に行うことで、来場した人たちに楽しんでもらえたかを肌で感じることもできるととても良い経験になった。（3E嶋津和輝）
- ・自分の考えた商品が実際形になったとき感動した。次は子どもとふれあうミニゲームを企画してみたい。（3E佐藤爽人）
- ・企画の準備の時はお客様が何をして喜ぶかを考えるのが難しかったけど、実際にイベントを実施して達成感があった、お客様は優しい方が多く、お話をすることもあったので、コミュニケーション力が大切だと思った。（3E伊藤達音）